

小千谷市こども計画（案） パブリックコメントに対する市の考え方について

No.	頁	項目	意見	意見に対する市の考え方	計画の修正
1	61	第5章 1（4）1） No. 5 つながりの場づくり支援事業の周知	事業の周知だけでなく、場づくり支援など具体的な支援が必要ではないか。 「必要する」を「必要とする」に脱字の修正をお願いします。	国・県ともに、NPO 法人などの主体的な活動を支援する方向性を打ち出していることから、既存の支援事業を活用しながら、支援団体や支援を必要とする方のニーズ把握に努めます。 脱字は修正します。	有
2	67	第5章 1（5） 取組の方向性	自殺予防に取り組むとともに、自己肯定感や自己有用感を高める声かけや働きかけを学校関係者や保護者が意識することが必要なのではないか。	現在策定中の第2期自殺対策計画（案）において、SOS を出しやすい環境を整備し、悩みを相談できる教職員等への研修を推進するとしておりますので、そちらの計画に沿って進めて参ります。 なお、自己肯定感や自己有用感の向上のためのキャリア教育については、学校教育現場で研究して参ります。	有
3	81	第5章 2（2） 学童期・思春期 課題	高校中退者等が就職につながるだけでなく、高等学校卒業程度の資格を取得できるような支援を行うべきではないか。	高校中退者への取組については、市では中退者の把握が困難であることから、より広域的な取組として、国や県で対応すべき内容であると考えます。 現在策定中の新潟県こども計画（素案）においては、中途退学の未然防止に向け、生徒の悩みや課題を学校が早期に発見し、適切に解決できるよう、スクールカウンセラーの活用を推進することとしています。 また、ハローワーク等が実施する支援（高等学校卒業程度認定試験など）などを周知していきます。	無

No.	頁	項目	意見	意見に対する市の考え方	計画の修正
4	86	第5章 2(2)5) いじめ防止	掲載されている事業は、いじめが発生してからの内容となっているため、いじめ防止のための事業を行うべきではないか。	いじめへの対応については、新潟県いじめ防止基本方針に基づき、いじめの防止から早期発見、認知した場合は深刻化させないように、迅速かつ適切に対応しております。 加えて、学校教育現場では、いじめの防止に向けた人権教育にも取り組んでおり、これらについて継続して実施して参ります。	有
5	89	第5章 2(2) 図表 65 学童思春期における健康目標	喫煙率について、こどもからの自己申告となっているが、副流煙の影響を考えると、周りの家族に喫煙者がいるかなどの項目を設定し、取り組むのが良いのではないか。	小千谷市健康増進計画において、受動喫煙を防止するための適切な分煙に向けた取組を行うこととしております。 そのため、こども計画では新たに調査項目を設けず、健康増進計画に基づき取り組んで参ります。	無